

JPDドメイン名の概要と JPRSの直近の取り組み

2023年7月20日(木)
株式会社日本レジストリサービス(JPRS)

目次

1. ドメイン名および業界構造の概要
2. JPDドメイン名を支える構造
3. JPDドメイン名の特徴と登録数
4. JPRSの直近の取り組み

1.ドメイン名および業界構造の概要

ドメイン名業界の構造

ICANN

・インターネット資源(ドメイン名など)やルートサーバーについて民間主導で調整する非営利法人

ICANN

jPRS

Nominet
(.ukなど)

Verisign
(.comなど)

...

レジストリ

・ドメイン名登録管理
・DNSの運用
・WHOISによる情報提供

GMO Internet
(.jpなど)

Gandi
(.ukなど)

GoDaddy
(.comなど)

...

レジストラ

・登録者への対応・販売
・各種申請の取次



...

リセラー

・登録者への販売(再販)



...

登録者

・ドメイン名の申請

ドメイン名とは

ドメイン名の役割

`https://example.jp`

`info@example.co.jp`

- Webページやメールアドレスに名前を付け、通信相手の指定に使えるようにする

電話番号にたとえると



ドメイン名を使うのに必要なことは2つ

– ドメイン名のデータベースの管理

電話番号とその持ち主を管理

- 各ドメイン名のインターネット全体での一意性を確保
- 各ドメイン名の登録者や有効期限などを管理

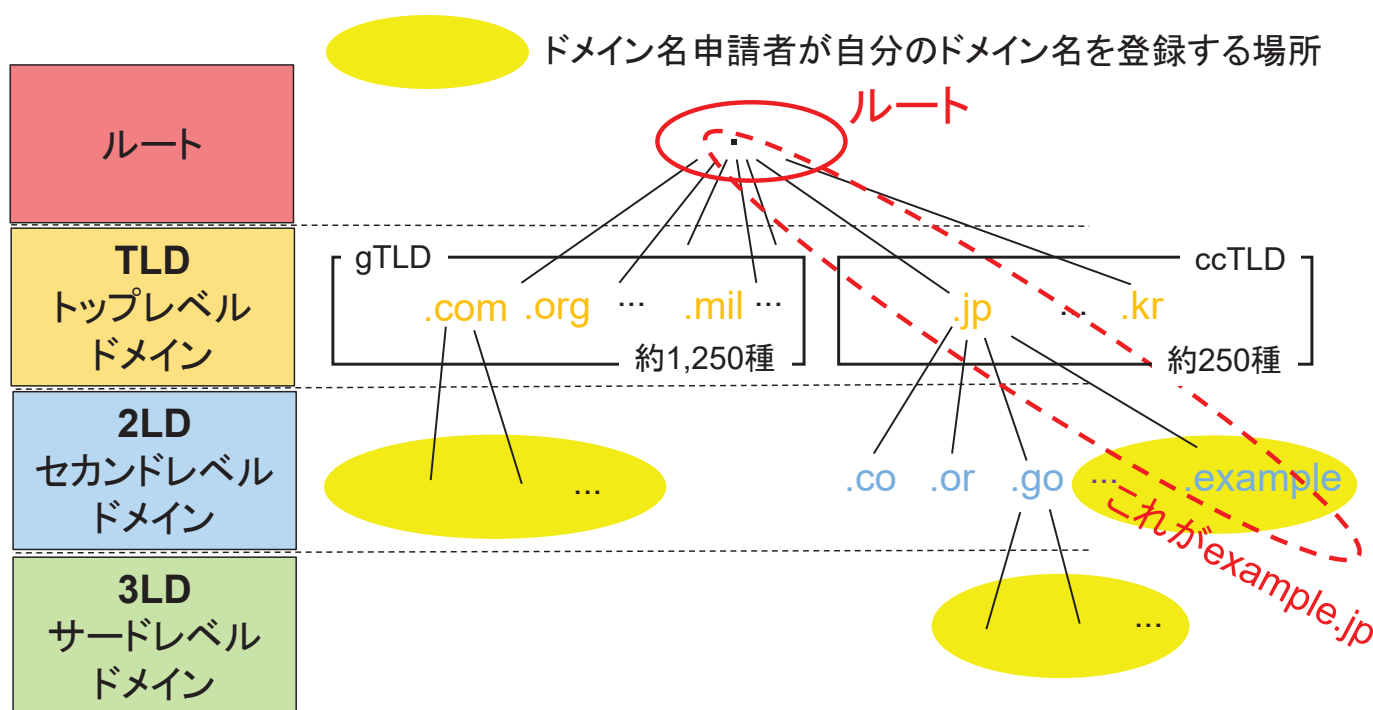
– インターネット上のDNS運用

電話交換機で電話をつなぐ

- URLや電子メールアドレスで通信相手を特定する手段としてドメイン名を利用できるようにDNSを運用

(注) DNS : ユーザーからの問合せに対し、ドメイン名に対応するIPアドレスを回答するシステム (Domain Name System)

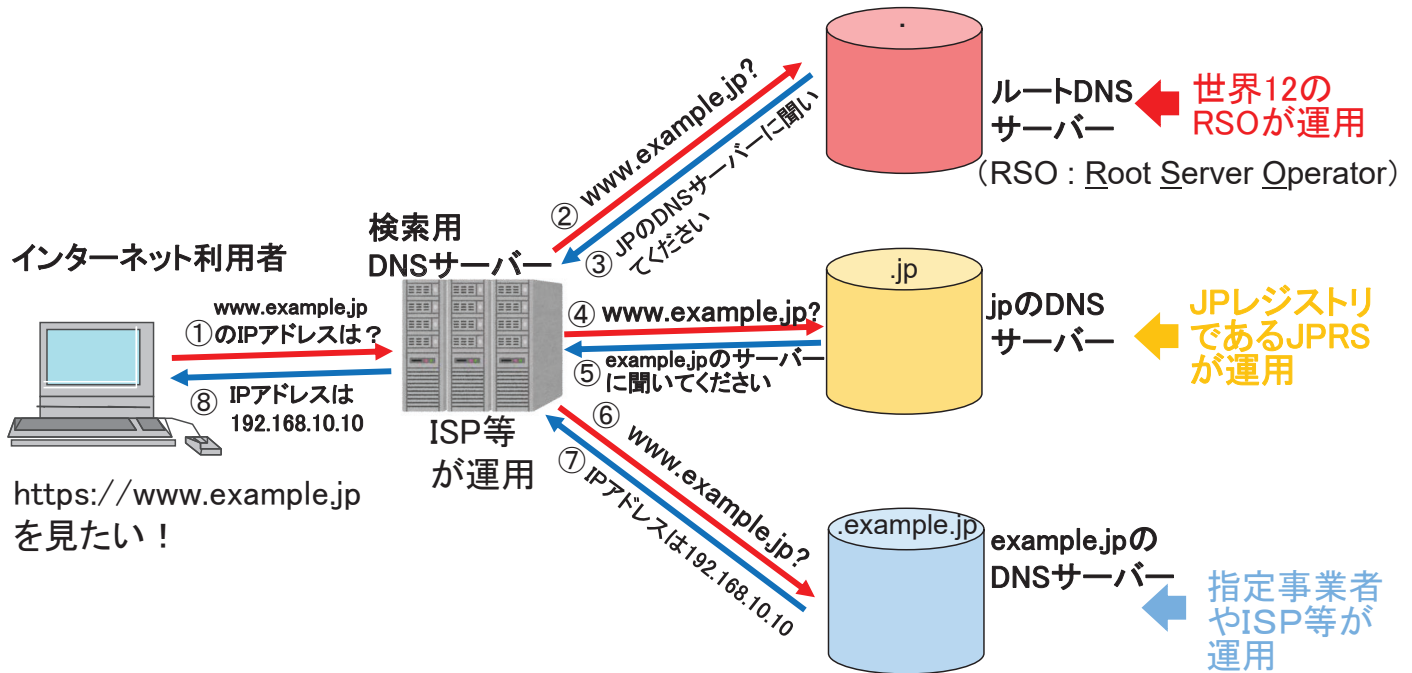
ドメイン名の構造



•TLDは全部で約1,500種類

- その中から、登録者に選ばれるJPドメイン名でありたい

ドメイン名からIPアドレスを知る仕組み ^{JPRS}

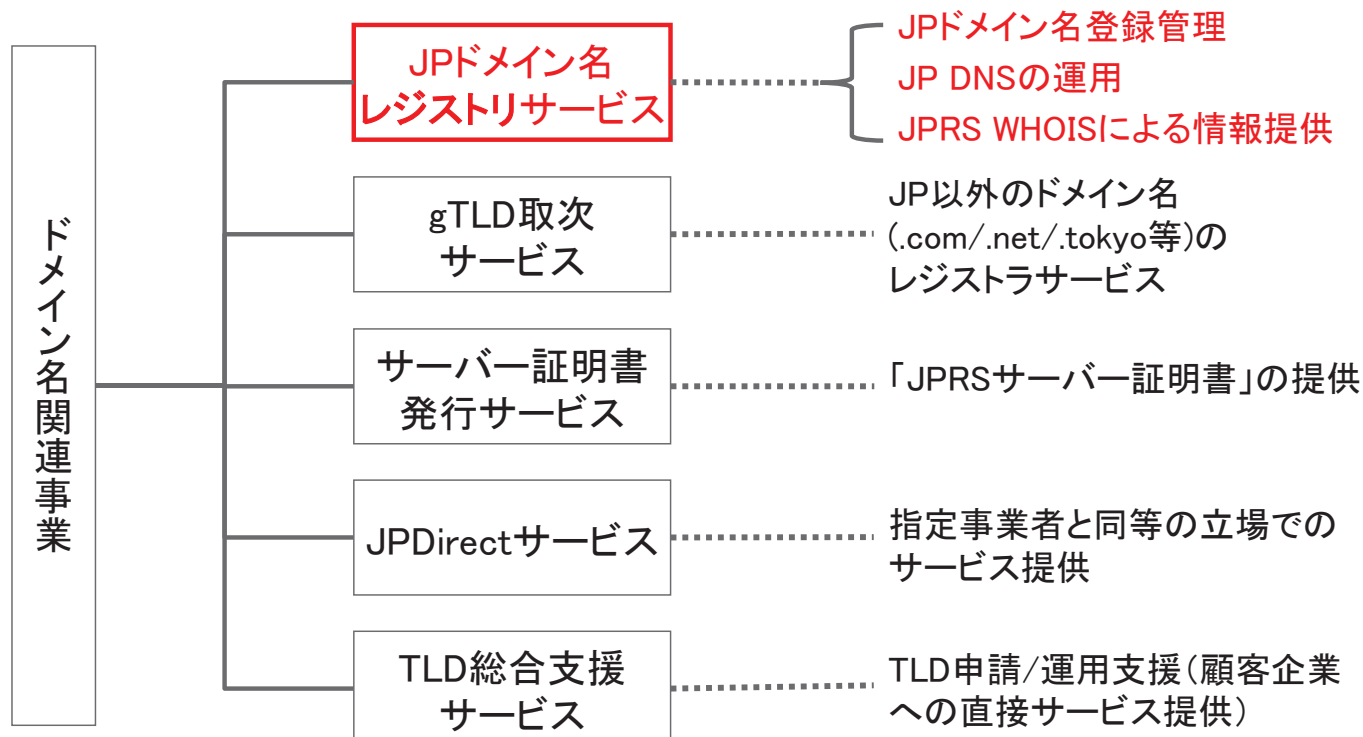


ドメイン名の特徴 ^{JPRS}

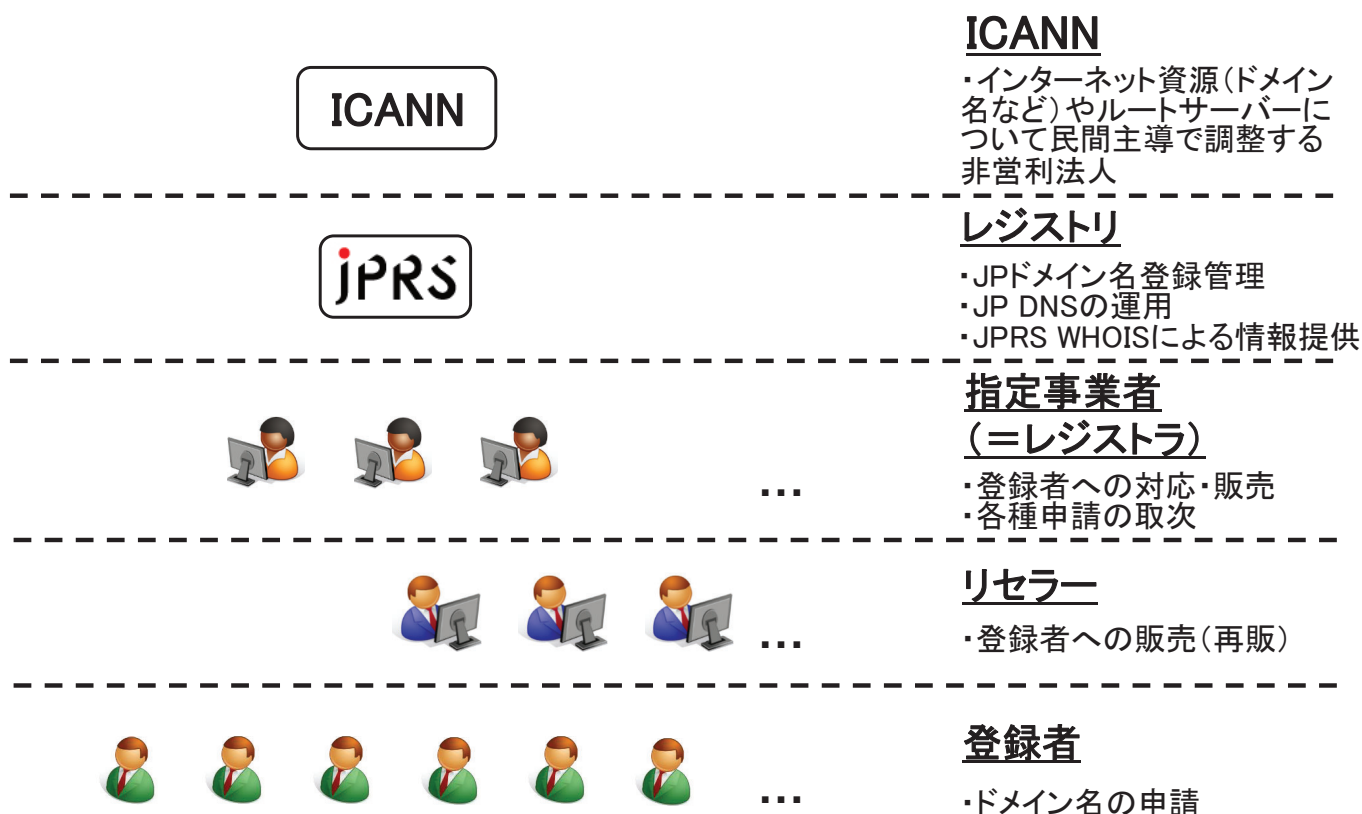
- 登録は先願制
 - 通常、最初に登録を承認された申請者がそのドメイン名の登録者となる
- 一意性
 - すでに登録されているドメイン名は登録できない
- 様々な文字での登録が可能
 - 一部TLDにおいては、漢字やひらがな、アラビア文字などのASCII以外の文字が使用可能
(国際化ドメイン名またはIDNと呼ばれる)
 - 例: 日本レジストリサービス.jp
- ドメイン名の登録情報はWHOISで公開されている
 - 登録者名、有効期限、連絡窓口情報など

2. JPドメイン名を支える構造

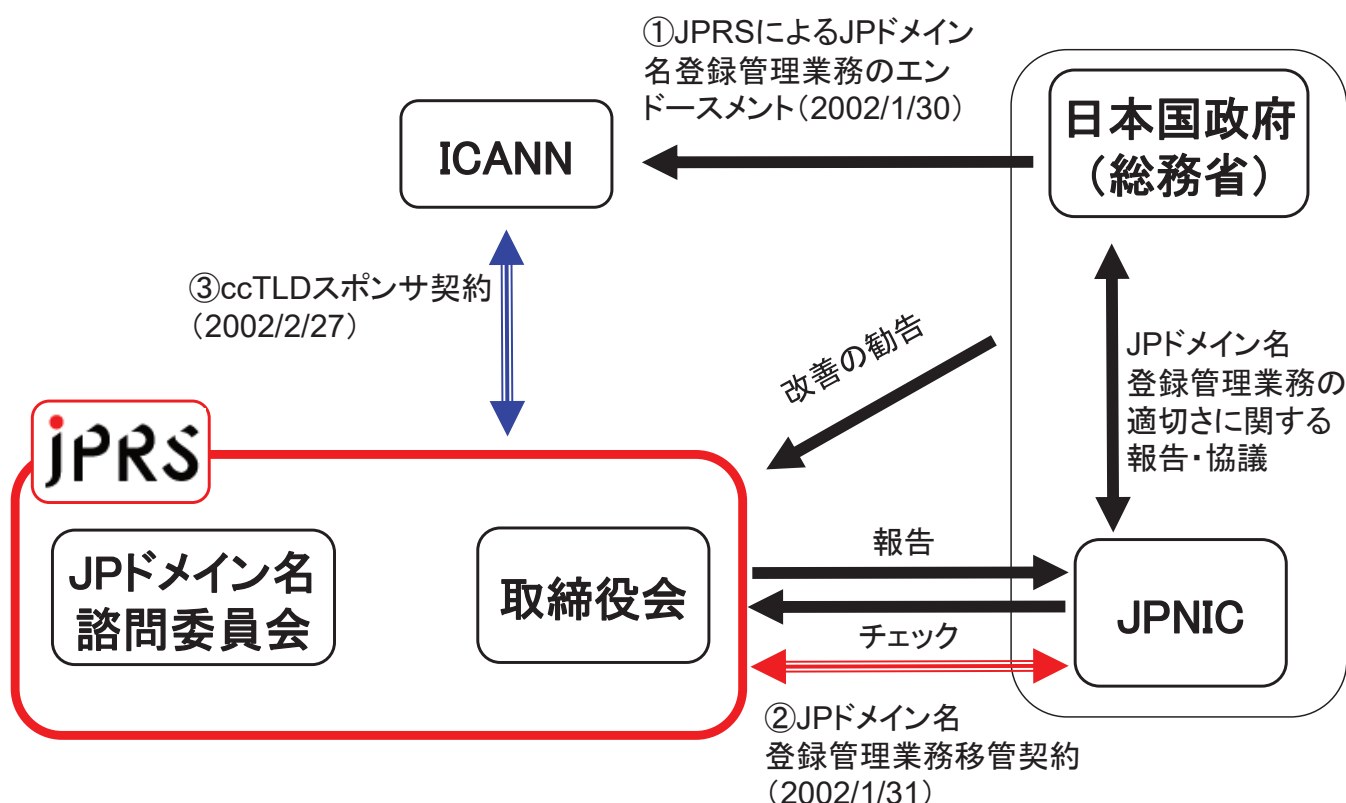
JPRSのドメイン名関連事業



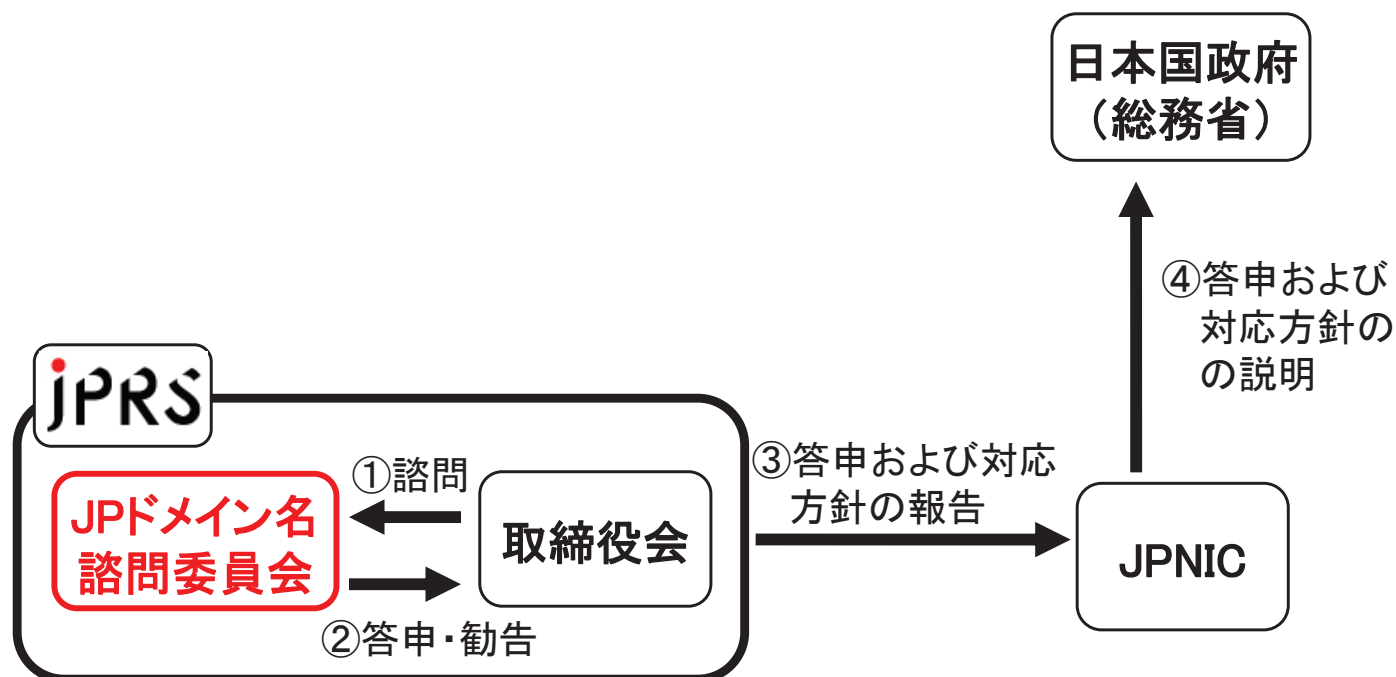
ドメイン名業界の構造 (JPドメイン名)



JPRS (JPレジストリ) と関係組織



JPドメイン名諮問委員会の位置づけ



3. JPドメイン名の特徴と登録数

JPDメイン名の特徴

- 複数の種類がある
 - 汎用JPDメイン名
 - 都道府県型JPDメイン名
 - 属性型・地域型JPDメイン名
- 国内住所要件（ローカルプレゼンス）がある
 - ドメイン名の登録者を、国内に住所を有する組織や個人に限定する原則
- 指定事業者制度
 - 各種申請の取次に加え、登録者・申請者への説明や指導・助言を行う
 - 2023年6月1日現在約570社
- WHOIS
 - JPDメイン名ではレジストリ(JPRS)が登録情報を管理し公開する

JPDメイン名の種類

- 汎用JPDメイン名
○○○.jp
 - jprs.jp、総務省.jp
- 都道府県型JPDメイン名
○○○.tokyo.jp
○○○.京都.jp
 - shinmachi.aomori.jp
しかまろくん.奈良.jp
- 属性型JPDメイン名(※)
○○○.co.jp
○○○.ne.jp
 - coj.gr.jp、keidanren.or.jp、nic.ad.jp、
ocn.ne.jp、sonynetwork.co.jp、
soumu.go.jp、titech.ac.jp

※1組織につき、1ドメインのみ登録可能

JPDメイン名の登録数(2023/6/1現在)

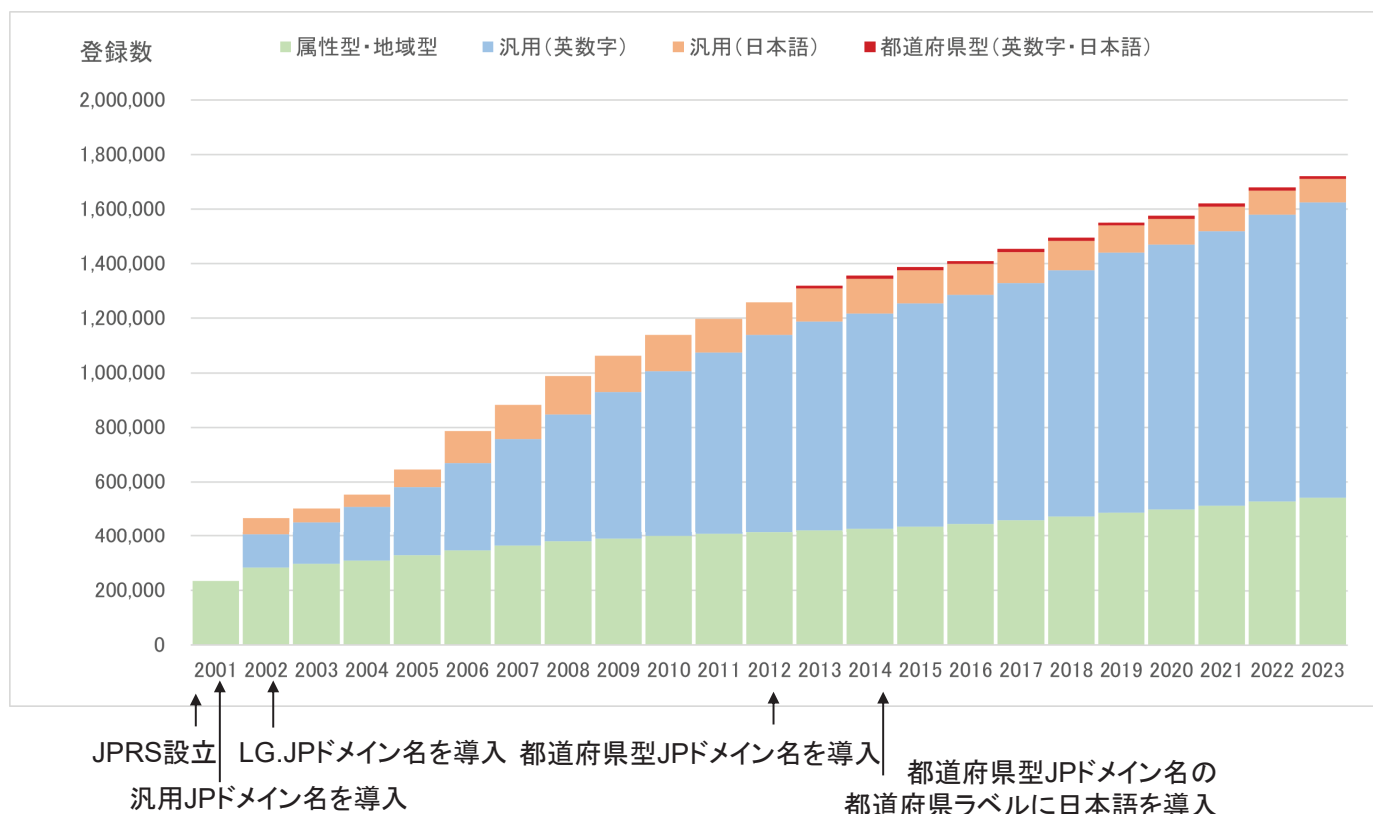
| 種類 | 登録数 |
|-------------------|-----------|
| 汎用JPDメイン名 | 1,182,062 |
| 都道府県型JPDメイン名 | 10,594 |
| 属性型・地域型JPDメイン名(※) | 545,591 |

総計 1,738,247

(※)属性型・地域型JPDメイン名の内訳

| | | |
|-----------|----------------|---------|
| 〇〇〇.CO.JP | 企業 | 471,955 |
| 〇〇〇.OR.JP | 企業以外の法人組織 | 40,079 |
| 〇〇〇.NE.JP | ネットワークサービス | 12,815 |
| 〇〇〇.GR.JP | 任意団体 | 5,483 |
| 〇〇〇.ED.JP | 小中高校など初等中等教育機関 | 6,409 |
| 〇〇〇.AC.JP | 大学など高等教育機関 | 3,830 |
| 〇〇〇.LG.JP | 地方公共団体 | 1,901 |
| 〇〇〇.GO.JP | 政府機関 | 791 |
| 〇〇〇.AD.JP | JPNIC会員 | 251 |
| 地域型 | 地方公共団体、個人等 | 2,077 |

JPDメイン名の登録数推移 (各年1月時点の登録数)



WHOISとは

ドメイン名関連情報の公開システム (<https://whois.jprs.jp/>)



このWHOISサービスはJPRSが提供するドメイン名登録情報検索サービス

ご利用にあたっては、以下の文書をご覧ください。

- [JPドメイン名登録情報等の公開・開示に関する規則](#)
- [gTLD等ドメイン名登録情報等の公開・開示に関する規則](#)
- [JPRS WHOIS ご利用ガイド](#)

WHOISについての一般的な説明は「[Whoisとは?](#)」をご覧ください。

検索タイプ 検索キーワード

ドメイン名情報 検索

ご注意： WHOIS へのデータの反映は最長で1日かかる場合があります。



このWHOISサービスはJPRSが提供するドメイン名登録情報検索サービスです。

- ご利用にあたっては、以下の文書をご覧ください。
- [JPドメイン名登録情報等の公開・開示に関する規則](#)
- [gTLD等ドメイン名登録情報等の公開・開示に関する規則](#)
- [JPRS WHOIS ご利用ガイド](#)

WHOISについての一般的な説明は「[Whoisとは?](#)」をご覧ください。

検索タイプ 検索キーワード

ドメイン名情報 検索 検索方法

Domain Information: [ドメイン情報]

[Domain Name] JPRS.jp

[登録者名] 株式会社日本レジストリサービス
Japan Registry Services Co.,Ltd.

[Name Server] ns1.jprs.jp
[Name Server] ns2.jprs.jp
[Name Server] ns3.jprs.jp
[Name Server] ns4.jprs.jp
[Signing Key] 43519 8 2 1
F125300C0CE000CFB65169944023F135
E1801D67D67D9C0A81ADA99541090C

[登録年月日] 2001/02/02
[有効期限] 2022/02/28
[状態] Active
[最終更新] 2021/03/01 01:05:10 (JST)

Contact Information: [公開連絡窓口]

[名前] 株式会社日本レジストリサービス
Japan Registry Services Co.,Ltd.
[Email] dom-admin@jprs.co.jp

[Web Page] 101-0065
[郵便番号] 東京都千代田区西神田三丁目6番1号
[住所] 千代田ファーストビル東館 13F
[Postal Address] Ohvoda First Bldg. East 13F,
3-9-1 Nishi-Kanda Ohvoda-ku,
Tokyo 101-0065, JAPAN
[電話番号] 03-5215-8451
[FAX番号] 03-5215-8452

ドメイン名情報が見られる

4. JPRSの直近の取り組み

ドメイン名移転時の安全性向上について

- JPDメイン名における指定事業者変更・ドメイン名移転(名義変更)手続きの安全性向上のための取り組み
 - 登録者による申請であることを確認するために、認証コードを導入(2022年11月)
 - JPRSがドメイン名ごとに付与する最大32桁のアルファベットや数字、記号などで構成されたパスワードで、指定事業者変更やドメイン名移転申請の際に、JPRSにて確認を実施
 - 現在は、並行運用期間中(2023年11月に終了予定)
 - 認証コード導入に伴う、指定事業者側でのシステム改修(切り替え)作業に配慮し、1年間の並行運用期間を設定

不正利用ドメイン名への対応に関する検討^{JPRS}

- 不正行為に使われているJPDメイン名へのレジストリとしての対応検討
 - 不正行為に使用されるドメイン名に対するレジストリの対応についてJPRSからJPDメイン名諮問委員会に諮問(2015年9月15日)
 - 不正行為による被害の防止・軽減に取り組む様々な関係機関と連携し、レジストリとして可能なものから取り組むことを積極的に検討すべきと諮問委員会からJPRSに答申(2016年6月20日)
 - JPRSでは、登録情報が不正確な場合には、指定事業者への確認や、登録規則に基づいた対応(登録の抹消など)を実施
 - それ以外の場合には、様々な関係機関と連携し、不正行為による被害の防止・軽減に取り組む
 - 現在は具体的なポリシーや対応手順の検討を目的とした、専門家組織である第三者機関との意見交換を実施

登録資格を喪失した属性型・地域型 JPRS JPドメイン名の扱いに関する検討

- ドメイン名登録時には登録資格を満たしていた登録者が、のちに登録資格を喪失した場合のポリシーを検討
 - ドメイン名登録時には登録資格を満たしていたが、登録後に登録者が登録資格を喪失した場合のJPドメイン名の扱いについてJPRSから諮問委員会に諮問(2020年2月28日)
 - 属性型・地域型JPドメイン名の現行の登録規則(※)では、ドメイン名の登録者は、その登録資格を喪失した場合速やかに廃止する義務がある
 - しかし現実的には、登録者が登録資格を喪失した後、すぐにドメイン名を移行・廃止することは困難であり、またインターネットユーザーの混乱をまねく恐れがある
 - ドメイン名の登録を所定の期間継続することを認めるべきとJPRSに答申(2020年9月29日)
 - 登録資格喪失時の廃止義務の例外的措置として、以下に示す答申のポイントを踏まえ、ドメイン名の登録継続を認めるサービスの実装方法を検討中
 - ローカルプレゼンスの維持、悪用防止対策、登録継続期間を無期限とはしないことなど

その他の取り組み

- 中学校では初となる、授業「ドメイン名とインターネット」の実施(2022年11月)
 - インターネットの仕組みをわかりやすく学んでもらう機会として、信州大学教育学部附属長野中学校にて、技術・家庭科(技術分野)の「D 情報の技術」の中でドメイン名に関する授業を実施
 - そのほか、正則学園高等学校や関西学院千里国際中等部でも、同様の授業を実施
- 「第25回全国中学高校Webコンテスト」への協賛(2023年2月)
 - 特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会が主催する「第25回全国中学高校Webコンテスト」に協賛し、応募作品へのJPドメイン名の提供および優秀作品へのベストドメインネーミング賞を贈呈
- Mルートサーバー運用拠点の拡大(通年)
 - JPRSは、2020年から、AP地域を中心とした拠点展開を進めている
 - 2022年には新たにグアム、マレーシア、タイ、そしてシンガポールでの運用を開始

